

設立 40 周年記念式典・記念祝賀パーティ 第 40 回総会・研修研究会

1. 日 時

特別企画「化学物質管理者講習に準ずる講習・実務に関する講習、質疑、討論等」

2024年3月13日（水）10:00-17:00 & 14日（木）9:30-12:00

総会 2024年3月14日（木）13:00-13:50

記念式典 2024年3月14日（木）14:30-17:30

記念祝賀パーティ 2024年3月14日（木）18:00-19:30

研修研究会 2024年3月15日（金）9:00-15:35

2. 参加費

記念式典・記念祝賀パーティ・研修研究会を合わせ、1人1万円
(会員・非会員とも同一金額)

3. 会 場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール ほか

[住所] 新宿区西早稲田1-20-14

[アクセス]

- JR 山手線、西武新宿線「高田馬場」駅下車 徒歩 20 分
都営バス 学 02 高田馬場発早大正門行「西早稲田」下車徒歩 5 分
- 東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩 10 分
- 都営荒川線「早稲田」駅下車 徒歩 5 分
- 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅徒歩 20 分

会場はこちらの建物の 1 階となります。外階段の後ろ側にある入口よりお入りください。



第40回総会

日時 2024年3月14日(木) 13:00 ~ 13:50
会場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール (ライブ配信予定)

設立40周年記念式典

日時 2024年3月14日(木) 14:30 ~ 17:30
会場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール (ライブ配信予定)

【式次第】

開会挨拶 14:30 ~ 14:35 私立大学環境保全協議会 会長 飛田 満
開催校挨拶 14:35 ~ 14:40 早稲田大学 総長 田中 愛治
来賓祝辞 14:40 ~ 14:45 大学等環境安全協議会 会長 大島 義人

記念特別講演 14:45 ~ 15:45

「プラチナ社会の実現～大学こそ変革の核となろう～」

株式会社三菱総合研究所理事長・

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク会長 小宮山 宏

(東京大学第28代総長)

人類が転換期を迎えている今、地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする「プラチナ社会」を目指すべきだ。現在の社会制度を前提とせず、多数の課題を同期的に克服して社会を変えるべく、大学は知の統合・変化先導の場となるべきだ。

◇休憩・デモ展示見学会◇ 15:45 ~ 16:15

記念講演 16:15 ~ 16:45

「協議会この10年の軌跡を振り返る」

私立大学環境保全協議会 顧問

松本 道明

(同志社大学理工学部化学システム創成工学科教授)

表彰 16:50 ~ 17:20

功績者表彰・功労者表彰・功労賛助会員表彰・代表者挨拶

閉会挨拶 17:20 ~ 17:30

私立大学環境保全協議会 副会長

菅原 義之

(早稲田大学理工学術院教授)

設立40周年記念祝賀パーティ

日時 2024年3月14日(木) 18:00 ~ 19:30
会場 早稲田大学 国際会議場3階 会議室

第40回 研修研究会

【午前の部】

日時 2024年3月15日（金） 9:00～12:10
会場 早稲田大学 国際会議場井深大記念ホール（ライブ配信予定）

<開催挨拶> 9:00～9:10(10分) 私立大学環境保全協議会 会長
飛田 満
(目白大学社会学部長/地域社会学科 教授)

<パネルディスカッション企画> 9:10～10:50(100分)

「生物多様性保全のための大学における緑地の活用」

ファシリテーター：日本環境学会 会長/NPO法人東海大学地域環境ネットワーク 理事長
私立大学環境保全協議会 名誉会員 藤野 裕弘

○基調講演 9:10～9:40(30分)

「人新世の生物多様性の現状と課題解決のアプローチ」

日本環境学会 前会長/東京都市大学 特別教授
(一社)生物多様性アカデミー代表理事 小堀 洋美

「人新世」と呼ばれる現在は、人間活動が地質に痕跡を残すほどに拡大し、地球の環境容量を超えている。特に、私たちの暮らし、社会・経済の基盤である生物多様性の損失は加速し続け、一部は回復不可能な状況にある。その現状と損失の直接的および間接的な要因を探る。さらに、2030年までの世界目標である、ネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる）の実現のための多様なアプローチについて紹介する。

○事例紹介 9:40～10:10(10分×3)

「『ICU三鷹キャンパスの森』の現状と未来構想

—— 書を捨てよ、森へ行こう ——

国際基督教大学 常任理事 中嶋 隆

学校法人国際基督教大学では、環境省から自然共生サイト（「ICU三鷹キャンパスの森」<57ha>）の認定を受けた。本サイトは、東京都北多摩地域に位置し、武蔵野の面影を残す雑木林、国分寺崖線の一部などを有し、絶滅危惧種を含む動植物が数多く生息している。また、雑木林から発生する落ち葉を近隣農家が活用しているなど、地域の貴重な自然環境として教育活動を支える大きな資産となっている。本講演では、キャンパスの現状と今後の活用方針を説明したい。

「慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)における生物多様性保全とサステナビリティへの取組」

慶應義塾大学 環境情報学部長/教授 一ノ瀬 友博

湘南藤沢キャンパス(SFC)は、藤沢市北部に位置し、藤沢市において最もよく自然環境が保全されている遠藤笹窪谷（えんどうささくぼやと）に隣接する。キャンパス内におけるビオトープの設置に始まり、20年以上にわたり生物多様性保全に取り組んできた。2022年11月には2030年に向けたカーボンニュートラル宣言も行い、2023年5月にはキャンパスの全ての構成員が関わるサステナブルキャンパスプログラムを立ち上げた。これらの取り組みを紹介したい。

「早稲田大学所沢キャンパスにおける生物多様性保全の取り組みと課題について」

早稲田大学 自然環境調査室 竹内 大悟

早稲田大学所沢キャンパスは、東京都と埼玉県にまたがる狭山丘陵の北西部に位置する。キャンパス開発の経緯から、学部の設置当初よりキャンパス利用と生物多様性保全が共存した運営がなされてきた。本報告では、約10haの谷戸で実施されている生物の生態調査や市民活動について紹介し、大学緑地の保全の利益をどう位置づけるか、実務を通じた課題についても例示する。

◇ 休憩および壇上レイアウト変更 10:10～10:20(10分) ◇

○パネルディスカッション 10:20～10:50(30分)

◇ デモ展示見学会・休憩 10:50～11:10(20分) ◇

<研修講演> 11:10～12:00 (50分)

「カーボンニュートラルに向けた政策動向と地域等における取り組み事例」

早稲田大学理工学術院 教授/環境・エネルギー研究科長 小野田 弘士

カーボンニュートラルに向けて、国・地域等によってさまざまな取り組みが進められている。本講演では、脱炭素先行地域等の国による政策動向やそれらに対応した地域等での取り組み事例を紹介する。また、大学キャンパス等でも応用可能と考えられる講演者による研究開発事例についても紹介する。

具体的には、再生可能エネルギーを導入した熱源システムの導入事例や2030年以降の社会実装を見据えた自動配送ロボットや廃プラ等の選別ロボットの研究開発事例を紹介する。また、産学官連携によるスマートシティプロジェクトやカーボンニュートラルに向けたオープンイノベーションに関する取り組みについてもポイントを提示する。

<講演総括> 12:00～12:10(10分)

私立大学環境保全協議会副会長 末永 聖武
(慶應義塾大学理工学部化学科 教授)

◇休憩・昼食 (60分) ◇

[午後の部]

日時 2024年3月15日(金) 13:10 ~ 15:35
会場 国際会議場 3階会議室・4階共同研究室など(当日ご案内・オンサイトのみ)

<グループ討議> 13:10 ~15:35(145分)

※次のⅠ～Ⅲのグループから、1つ選択してください。

Ⅰ：教育と連携

「教育と産学の連携による SDGs の達成に向けて (大学コンソーシアム八王子の取り組み)」

「大学コンソーシアム八王子」による、学生の自由な発想や企画を地域の活性化に活かす取り組みをとおして、SDGs 達成のための持続可能な産学連携について活発な討議を行います。

グループ内講演 「学園都市八王子の持続可能な発展を目指して」

大学コンソーシアム八王子事務局主査 鎌田 正純

Ⅱ：化学物質

「新たな化学物質規制体系に向けた対応について」

前回までのグループ討議で取り上げた、化学物質規制体系の見直しについて、大学での取組み事例等、最新情報をもとに改めて取り上げ、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行うことを予定しています。

Ⅱ-A：法改正概要について(基礎的内容)

Ⅱ-B：化学物質アセスメントの実務について

Ⅱ-C：化学物質管理体制について(化学物質管理者・保護具着用責任者の設置等)

Ⅱ-D：化学物質のばく露軽減措置について(作業環境測定等)

Ⅱ-E：化学物質にかかる安全教育について

Ⅱ-F：実験系廃棄物管理について

Ⅲ：施設・設備

「カーボンニュートラル実現に向けた大学における取り組みについて」

カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを計画と運用の2つの段階に分け、専門的な知見をお持ちのコーディネータの皆様を交えて、討議、意見交換などを行います。

【私立大学環境保全協議会 40周年記念事業】 「化学物質管理者講習に準ずる講習」のご案内

私立大学環境保全協議会は、40周年記念プログラムの一環として、「化学物質管理者講習に準ずる講習（リスクアセスメント対象物の製造事業者以外）」を開催いたします。2024年度より化学物質を取り扱う事業場において化学物質管理者の選任が義務となります。リスクアセスメント対象物を製造する事業場以外の事業場における化学物質管理者に必要な知識等を習得するための所定の講習を、記念式典・研修研究会参加の方を対象に開催いたします。

化学物質管理者候補者に受講いただくほか、学内における安全教育や化学物質管理者選任にあたっての内部教育に役立つものとなりますので、どうぞご参加ください。

なお、13日14日両日参加された方には私立大学環境保全協議会事務局名で修了証を発行し、終了時にお渡しする予定です。

【概要】

対象者：私立大学環境保全協議会 40周年記念式典・第40回研修研究会 ご参加の方

※参加希望者多数の場合は、ご相談差し上げることがあります。

会場：早稲田大学国際会議場3F 会議室（東京都新宿区西早稲田1-20-14）

3月13日(水)10:00-17:00

化学物質管理者講習に準ずる講習(リスクアセスメント対象物の製造事業者以外)

講師：津田 洋子様(帝京大学講師)

講習科目	科目時間
化学物質の危険性及び有害性並びに表示等	1時間30分
化学物質の危険性又は有害性等の調査	2時間
化学物質の危険性又は有害性等の調査の結果に基づく措置等その他必要な記録等	1時間30分
化学物質を原因とする災害発生時の対応	30分
関係法令	30分

3月14日(木)9:30-12:00

化学物質管理者としての実務について

講師：中村 修 様(筑波大学教授)

化学物質管理者としての実務に関する講習、質疑・討論等

講師：中村 修 様(筑波大学教授)、奥田 篤史様(富士清空工業所)

なお、15日(金)グループ討議 II-B グループに参加される方は続けて討論に参加いただけます。

【テキスト】 今回の講習では、以下をテキストとして使用いたします。参加される方は各自ご用意ください。

「化学物質管理者選任時テキスト リスクアセスメント対象物製造事業場・取扱い事業場向け」
(中央労働災害防止協会編・1800円)第2版(発行年月日 20230707)

以上